

水道情報活用システム標準仕様研究会
第3回 通常総会
【第一号議案】

2022年度事業報告(案)

2023年5月25日

水道情報活用システム標準仕様研究会 事務局

1. 2022年度の活動計画および活動報告

- 1 - 1 2022年度の主な活動計画
- 1 - 2 2022年度の活動報告（概要）
- 1 - 3 2022年度の活動報告（部会）

2. 標準仕様書の管理・改定について

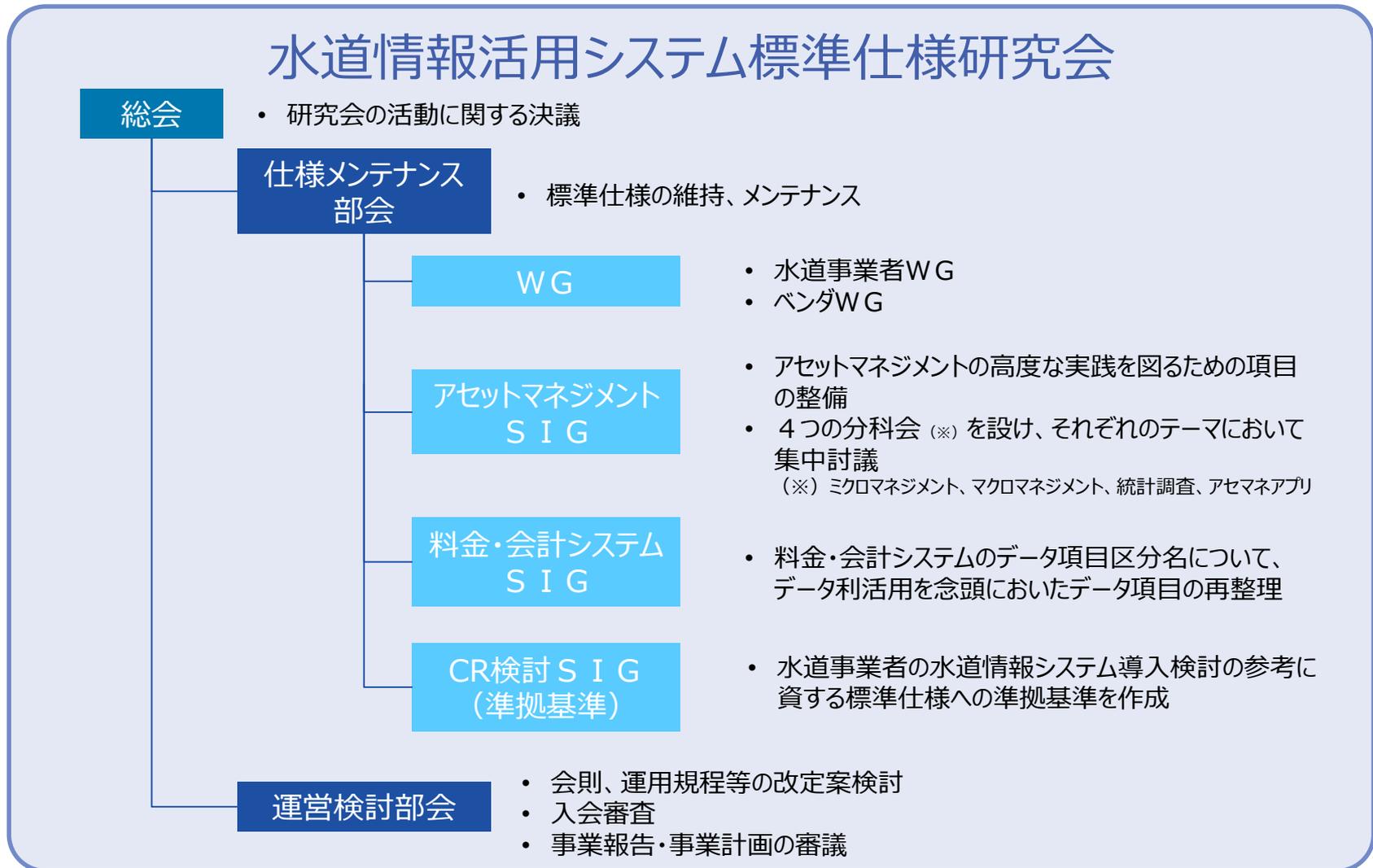
- 2 - 1 標準仕様書の改定（独自インターフェイスの暫定期間延長）
- 2 - 2 水道事業者WGの活動報告
- 2 - 3 ベンダWGの活動報告
- 2 - 4 アセットマネジメントSIGの活動報告
- 2 - 5 料金会計システムSIGの活動報告および標準仕様書の改定について
- 2 - 6 CR検討SIGの活動報告

3. 水道情報活用システムの普及活動について

- 3 - 1 ウェビナーの開催結果について
- 3 - 2 全国7カ所での説明会・個別相談会の開催結果について
- 3 - 3 会員状況について

1. 2022年度の活動計画および活動報告

✓ 2022年度の活動として、以下を予定しておりました。



✓ 2022年度の主な活動は以下のとおりとなります。

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審査委員会							▲ 標準仕様書 改定審議 (独自IF延 長)					▲ 標準仕様書改定 審議(料金・会 計システムの項目 整理)
総会	▲											
仕様メンテナンス部会					▲ 独自IF延長 審議	▲ 審査委員会 向け審議				▲ 料金・会計シス テムの項目審議	▲ 審査委員会 向け審議	
WG			▲ 事業者WG・ベンダWG							▲ 事業者WG・ベンダWG		
アセットマネジメントSIG	●—————▶ ミクロマネジメント（業務オペレーション）等											
料金・会計システムSIG	●—————▶ データ項目等の再整理											
CR検討SIG	●—————▶ 準拠基準（アプリケーション）の策定											
運営検討部会		▲ 入会審査		▲ 入会審査	▲ 入会審査	▲ 入会審査	▲ チェックリスト 審議		▲ 入会審査			▲ 準拠サービス公開基準の審議、 入会審査、事業計画の承認
普及活動	●—————▶ 研究会主催の説明会を実施、水道事業者等を対象とした外部の説明会への参加、水道情報活用システム導入検討の参考となるような情報発信											
研究会主催の普及活動	▲ 松山会場での説明会・個別 相談会					▲ 全国6カ所での説明会・個 別相談会	▲ ウェビナーの開催					
官民連携協議会への参加							▲ 山形県開催	▲ 福岡県開催	▲ 茨城県開催		▲ 三重県開催	
情報発信									▲ 簡易チェックリストの HP公開		▲ 業務オペレーションの HP公開	

✓ 以下のとおり、部会を開催しました。

概要

仕様 メンテナンス 部会

■ 4 回開催

第10回（2022.8.1 WEB開催）独自IFの暫定期間延長（案）の審議

第11回（2022.9.16 WEB開催）審査委員会向け資料（独自IFの暫定期間延長）の審議

第12回（2023.2.1 WEB開催）料金・会計システムの項目再整理（案）の審議

第13回（2023.3.3 WEB開催）審査委員会向け資料（料金・会計システムの項目再整理）の審議

運営検討 部会

■ 7 回開催

第17回～第20回・第22回（WEB開催）入会審査

第21回（WEB開催）簡易チェックシートの審議

第23回（WEB開催）準拠サービス・製品の公表基準（アプリケーション）・入会審査・事業計画の承認

2. 標準仕様書の管理・改定について

- ✓ ベンダ様によるアプリケーションの標準インターフェイス対応が普及・展開の途上であるため、暫定的に認められている「独自方式（独自インターフェイス）」での接続について、**暫定期間を1年延長し2024年3月31日とする**ことで更なる普及促進を図ることについて、審査委員会にて承認を頂き標準仕様書の改定を行いました。

<改定箇所>

対象ドキュメント（文書）：↵

ドキュメント識別子↵	ドキュメント名↵	エディション番号↵
WPSC005↵	水道情報活用システム 基本仕様書 別冊 水道標準プラットフォーム外部仕様書↵	Ed.1.2↵

↵

変更内容：変更箇所に下線を付す。↵

改定前↵	改定後↵
<p>2.4.8 ベンダー参画を促すための措置↵</p> <p>事業者からは多くのベンダーの参加を期待されているが、ベンダー側からは特に「標準インターフェイス」などの対応を現状保有するアプリケーションに実施することが期間的に難しい可能性がある。↵</p> <p>その対応措置として、ベンダーのアプリケーションと水道標準プラットフォーム上のデータとの接続については、暫定期間を202</p>	<p>2.4.8 ベンダー参画を促すための措置↵</p> <p>事業者からは多くのベンダーの参加を期待されているが、ベンダー側からは特に「標準インターフェイス」などの対応を現状保有するアプリケーションに実施することが期間的に難しい可能性がある。↵</p> <p>その対応措置として、ベンダーのアプリケーションと水道標準プラットフォーム上のデータとの接続については、暫定期間を202</p>

✓ 以下のとおり、水道事業者WG活動を行いました。

概要

第4回 水道事業者 WG 開催概要

開催日：2022年6月22日（水）

参加者：水道事業者：39事業者（会員18、オブザーバ21）、関連団体：3団体
プラットフォーム：1業者

内容：

- （1）水道事業経営における動的サイバー・フィジカルセキュリティの重要性
～企業向けサービスのBCPの観点からの考察～（名古屋工業大学 教授 渡辺 研司 様）
- （2）水道情報活用システムの推進に向けて（経済産業省）
- （3）水道情報活用システムの導入状況等（厚生労働省）
- （4）水道情報活用システムの調達及び稼働状況に係る調査結果（案）
（独立行政法人 情報処理推進機構）
- （5）水道情報活用システム標準仕様研究会の活動概況と今後の予定（研究会事務局）
- （6）料金・会計SIGの活動概況と今後の予定（料金・会計SIGリーダ）

第5回 水道事業者 WG 開催概要

開催日：2023年2月7日（火）

参加者：水道事業者：85事業者（会員18、オブザーバ67）、関連団体：3団体
プラットフォーム：1業者

内容：

- （1）水道標準プラットフォームの推進に向けて（経済産業省）
- （2）水道情報活用システムの導入状況等（厚生労働省）
- （3）水道情報活用システムの認知・導入状況及びデータ利活用に関する調査結果（仮）
（独立行政法人 情報処理推進機構）
- （4）アセットマネジメントの取組み、財務諸表の見方と経営分析
（菊池副会長（元 岩手中部水道企業団 局長））
- （5）水道情報活用システム標準仕様研究会の活動概況と今後の予定（研究会事務局）
- （6）質疑応答

✓ 以下のとおり、ベンダWG活動を行いました。

概要

第4回 ベンダWG 開催概要

開催日：2022年6月28日（火）

参加者：ベンダ：29業者、プラットフォーマー：1業者

内容：

- (1) デジタル産業政策の動向と水道分野の取組み（経済産業省）
- (2) 水道情報活用システムの導入状況等（厚生労働省）
- (3) 水道情報活用システム標準仕様研究会の活動概況と今後の予定（研究会事務局）
- (4) 質疑応答

第5回 ベンダWG 開催概要

開催日：2023年1月26日（木）

参加者：ベンダ：34業者、プラットフォーマー：1業者

内容：

- (1) 水道標準プラットフォームの推進に向けて（経済産業省）
- (2) 水道情報活用システムの導入状況等（厚生労働省）
- (3) 水道情報活用システムの認知・導入状況及びデータ利活用に関する調査結果（仮）
（独立行政法人 情報処理推進機構）
- (4) 水道標準プラットフォームのサービス内容のご紹介（（株）J E C C）
- (5) 水道情報活用システム標準仕様研究会の活動概況と今後の予定（研究会事務局）
- (6) 質疑応答

- ✓ ミクロマネジメントについての議論が行われました。
- ✓ 水道事業者様へのヒアリングを通して、水道施設台帳整備における業務オペレーション（①固定資産台帳と水道施設台帳の連携、②保守修繕時の管理方法）が整理され、研究会HPへ公開されました（2023年3月）。
- ✓ 今後は、マクロマネジメントについて議論を進める予定となっております。

水道施設台帳整備における業務オペレーション案を公開しました

水道情報活用システム標準仕様研究会（会長：新 誠一、以下「研究会」といいます。）は、水道事業者様とベンダ様の知見を集約し、アセットマネジメントの高度な実践を図ることを目的にアセットマネジメントSIG※を開催しております。

本SIGにて整理された水道施設台帳の整備項目案については、研究会会員以外の水道事業者様等からもご意見を広く募ることで、より良い内容へ改訂をしていって欲しいとの協力水道事業者様からのご意向もあり、2021年8月に一般公開させていただきました。

この度、本SIGにおいて、水道施設台帳整備における業務オペレーション案が整理されました。本業務オペレーションについても研究会会員以外の水道事業者様等からもご意見を広く募ることでより良い内容へと改訂いたしたく、同様に一般公開させていただきます。詳細は公開資料「業務オペレーションの整理」をご確認ください。

ご意見は事務局宛（wssp-sc@jecc.com）にご連絡をお願いいたします。いただいたご意見は、研究会内で検討し、アセットマネジメントSIGにて議論いたします。

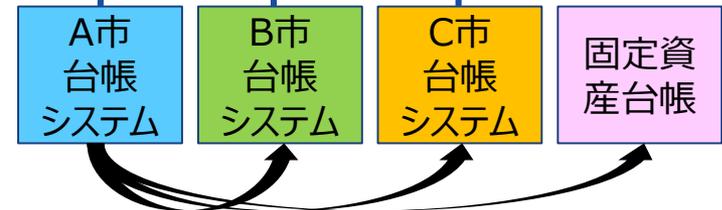
公開資料：業務オペレーションの整理（PDF：376KB）

※アセットマネジメントSIGについて
給水人口の規模、経営視点、水運用視点など、水道事業者様の状況や担当者の立場によって求めているアセットマネジメントが多岐に渡ることが、水道事業者様へのヒアリングの結果確認されたことから、以下の4テーマの分科会を設定して議論を進めております。

1. ミクロマネジメント分科会
2. マクロマネジメント分科会
3. 統計分科会
4. アセットマネジメントアプリケーション分科会

データ利活用イメージ

水道標準プラットフォーム



① ノウハウ共有

例えば、他事業者の補修実績を確認することで、機器をどのくらい延命（更新時期を延ばす）できたを知ることができる。

② 固定資産台帳との連携

固定資産単位の機器をメインとして管理することで、固定資産台帳との連携が可能になり、正確な資料作成ができる。

掲載場所：<https://www.j-wpf.jp/>

- ✓ 料金・会計SIGでは、データ利活用を念頭におき、水道標準プラットフォームにデータ蓄積する際の業務区分名（中区分）・データ項目区分名（小区分）の再整理（SIG：6回、ヒアリング：7回）を実施、標準仕様書の改定を行いました。
- ✓ 今後は、データ利活用を念頭においた区分名について整理できたことから、標準IF対応やデータ利活用について議論する予定です。



会計システム

参考イメージ（業務区分名）

No.	システム	業務	データ項目 区分コード（8桁）
1	公営企業会計システム	固定資産台帳	先頭5桁 “D0101” 固定
2		工事台帳	先頭5桁 “D0102” 固定
3		決算	先頭5桁 “D0103” 固定
4		予算関連	先頭5桁 “D0104” 固定
5		執行（支払）関連	先頭5桁 “D0105” 固定
6		執行（測定、収入）関連	先頭5桁 “D0106” 固定
7		企業債	先頭5桁 “D0107” 固定
8		貯蔵品（物品）	先頭5桁 “D0108” 固定

	改定前	改定後
業務区分名	8	18
データ項目区分名	247	557

料金システム

参考イメージ（業務区分名）

No.	システム	業務	データ項目 区分コード（8桁）
15	料金システム	給水台帳関連情報	先頭5桁 “D0301” 固定
16		測定	先頭5桁 “D0302” 固定
17		収入	先頭5桁 “D0303” 固定
18		折衝	先頭5桁 “D0304” 固定
19		料金収入見通し	先頭5桁 “D0305” 固定

	改定前	改定後
業務区分名	5	12
データ項目区分名	186	489

- ✓ CR検討SIGにて、アプリケーションサービスについて、標準仕様書に準拠したサービス・製品であることの自己確認手順が取り纏められました。
- ✓ 会員向け公開を経て、一般公開を予定しております（2023年5月）。

標準仕様準拠サービス・製品の
公表手続きについて
(アプリケーションサービス) (案)

2023年 月

水道情報活用システム標準仕様研究会

自己確認チェックシート (案)					
アプリケーション名					
接続確認で参照した標準仕様書		WPSC002 水道情報活用システム 基本仕様書 別冊 アプリベンダー向け標準インターフェイス仕様書 Ed.1.1			
会 員 名		提 出 日			
部 署 名		担 当 者 名			
連絡先 e-mail		連絡先 Tel			
1. アプリベンダー向け標準インターフェイス API 接続確認一覧					
※接続確認ができたAPIの「接続確認」欄に“○”を選択してください。					
No.	用途	API名	説明	接続確認	備考
例1	○○○	○○○API	○○○するAPI	○	
例2	△△△△	△△△△API	△△△△するAPI		
アプリベンダー向け標準インターフェイスのIoTゲートウェイAPI					
4.1	アプリケーション利用	アプリケーション接続API	アプリケーションを水道標準プラットフォームに接続するAPI。		
4.2		アプリケーション切断API	アプリケーションを水道標準プラットフォームから切断するAPI。		
4.3	マスタ参照	マスタデータ参照API	施設マスタ、設備マスタ、機器マスタ等を参照するAPI。 (施設マスタデータ参照API、設備マスタデータ参照API、機器・計測項目マスタデータ参照API)		
4.4	データ監視	即時取得API	計測対象データの現在値の監視要求を実行するAPI。本APIを実行すると、応答で計測対象データの現在値を取得できる。		
4.5		定周期監視実行API	計測対象データの定周期での監視要求を実行するAPI。		
4.6		定周期監視一覧取得API	現在実行中の定周期監視を一覧で取得するAPI。		
4.7		定周期監視停止API	現在実行中の定周期監視を停止するAPI。		

3. 水道情報活用システムの普及活動について

- ✓ ウェビナー後のアンケートにて、以下のようなご意見を頂きました。今後の活動の参考とさせて頂き普及活動に注力して参ります。

<主なご意見の抜粋>

Q ウェビナーへの全体評価を教えてください。

- A
- ・他事業体における実際の取組や最新動向を知れて大変参考になった。
 - ・ディスカッションやプラットフォームのデモが見られてよかった。
 - ・コスト改善のイメージが出来たため良かったが、監視システムの事例が聞きたい。

Q 浪江町様の講演へのご意見をください。

- A
- ・実際に費用対効果を考慮されている導入が参考になりました。
 - ・少人数運営の自治体の状況（人事異動）と導入後の業務について実態が参考となった。
 - ・浪江町の状況が将来の水道事業と重なる部分もあり、システム調達が参考になった。

Q 大津市様の講演へのご意見をください。

- A
- ・広域連携の一つのモデルケースになるのではないかと思った。
 - ・経営統合せず緩やかな広域化によって、持続可能な水道事業を目指すことはとても重要。
 - ・仕様がバラバラでも良く、乗せれる都市から協力して兎に角始める作戦、良いと思いました。

Q ウェビナーで取り上げてほしいテーマ、内容があればご意見ください。

- A
- ・同様の取組事例や広域化の事例、導入までのスケジュール
 - ・水道標準プラットフォームを利用した、自治体間のデータ利活用事例
 - ・監視制御システムや管路劣化を予知するようなIoT機器情報

- ✓ 水道事業者向け普及活動として、昨年度に続き全国説明会を開催致しました。地域密着をコンセプトに、エリアを絞った開催でしたが、多数の事業者に参加頂けました。
- ✓ 個別相談では、広域展開やデータ利活用等の発展的なご相談を頂きました。

開催日	都市	参加者数	事業者数	個別相談
4/26	松山	28名	15事業者	3事業者
10/25	宇都宮	25名	13事業者	2事業者
10/26	水戸	25名	13事業者	4事業者
11/10	岡山	27名	13事業者	5事業者
11/11	熊本	13名	9事業者	4事業者
11/28	長野	21名	9事業者	3事業者
11/29	金沢	25名	11事業者	3事業者
合計		164名	83事業者	24事業者

■ 全国説明会にて頂きました主なご意見について記載させていただきます。

- ✓ **水道情報活用システムをベースにしたアセットマネジメントモデルを確立**したい。経営戦略のアクションプランの一つとしたいので、支援してもらいたい。(水道事業者A)
- ✓ 複数の県下事業者が整備した施設台帳について、**水道情報活用システムによる共通システム化**を検討したい(用水供給事業者B)
- ✓ 今回の説明で**水道情報活用システムについて良く理解**できた。中央監視システムの更新を水道情報活用システムで検討したいので、関係者を集めた勉強会を開催するので支援してほしい(水道事業者C)

※参加事業者数は、同じ事業者でも違う部署が申し込んでいる場合は別カウントとしています。

- ✓ 研究会会員は、2023年3月時点で**101者**となりました。構成は、水道事業者等41者、ベンダー51者、プラットフォーム1者、特別会員8者となっております（2022年3月時点：78者）。

研究会の会員数推移

